

主 要 変 更 点

今回のマークIIシリーズの変更ねらいは、新技術を具体化した「豪華さ」とあらゆる走行条件に対応できる「操縦性」の調和を更に極めることにあります。

その実現のため、車種構成の充実、各種性能、フィーリングの向上、内外装のグレードアップ、安全公害装置の充実、機能の充実を主目標にして各機能・装備を変更してあります。

1 車種構成の充実

(1) MX に EFI 車新設

参照ページ
(12)

マークII系最高級車として、セダン、ハードトップにM-Eエンジン搭載車を設定しました。装備品も最高級車にふさわしくセミ・トランジスタ点火装置、ブレーキ・ウオーニング装置、パワーウィンドウ、パワーステアリング、リモコンミラー、トランクオープン等が設けられています。

(2) ワゴンにM型エンジン搭載車を設定

(12)

マークII系ワゴンM型エンジンを搭載したスポーティワゴンを設定しました。グレードはLシリーズと同じで高速レジャーツーリングも可能な5段トランスミッションを装備しております。

(3) MX に普及版を設定

(12)

6気筒エンジンのフィーリングをより多くのユーザーに味わっていただくために、MX系に普及版を設定しました。Lシリーズ普及版は内装・装備がRX系のGL仕様となっております。

(4) 18R-E のオートマチック車を設定

(12)

18R-E搭載車に、A40型オートマチックトランスミッションを設定しました。

2 各種性能、フィーリングの向上

(1) エンジン性能向上

① 18Rエンジンのパワーアップ (21)

② 16Rエンジンの新設(6R型エンジンのボアアップ) (21)

③ M-Eエンジンの新設(M型エンジンのEFI) (36)

(2) 走行安定性向上

④ リヤスタビライザの装着(RX22-MQGのみ) (78)

⑤ リーフスプリングハンガ位置の変更(バンワゴンのみ) (77)

(3) 操作性向上

⑥ クラッチ踏力の軽減 (63)

⑦ ハンドル操作力の軽減 (80)

⑧ センタレバー式パーキングブレーキの装着 (84)

主 要 変 更 点

	参照ページ
⑨ シフト レバー位置の変更	(67)
⑩ W50トランスミッションの搭載	(70)
(4) 静しゅく性向上	
⑪ パワー プラント系の剛性アツプ	(68)
⑫ デフアレンシャルのサイズ アツプ	(75)
3 内外装のグレード アツプ	
(1) 外観の向上	
① R X系のラジエタ グリルの変更	(91)
② M X系のフロント エンブレムの変更	(91)
③ セダン、ハード、トツプのリヤ ビューの変更	(91)
④ セダン系のボデー ストライプの変更	(93)
⑤ セダン系のフューエル インレット カバーの変更	(97)
⑥ ボデー カラーの変更及びクリヤ コートの採用	(98)
⑦ ワゴンとバンの外観差の明確化	(93)
(2) 内装の向上	
⑧ コンソール ボックスの大型化	(101)
⑨ キャスト ウツド ステアリング ホイールの採用	(81)
⑩ ワゴンのバツク ドア ヒンジにカバーを装着	(101)
⑪ シート ベルトの操着性向上	(99)
⑫ トランク レーム マツトの材質向上 (セダン ハードトツプのみ)	(101)

4 機能の充実

適 応 種 車

	項 目	R X 系	M X 系
①	間けつワイパーの採用	G L 以上	全 車
②	リモコン ミラーの採用	な し	L G のみ
③	トランク オープナの採用	な し	L G のみ以上
④	燃料残量警告灯の採用	G S L 以上	L 以上
⑤	照明付シガレット ライタ、灰皿の採用	D X 以上	全 車
⑥	ワンタッチ戻り会トリツプ メータの採用	全 車	全 車
⑦	リヤ ウインド ワイパの採用	な し	ワゴンのみ
⑧	トランク照明の採用	G L 以上	全 車
⑨	AM・FMマルチステレオ式ラジオの採用	な し	L G のみ

主 要 変 更 点

5 安全・公害対策の充実

(1) 安全対策の充実

- | | 参照ページ |
|-------------------------------|-------|
| ① 全車ディスク ブレーキの標準装備 | (83) |
| ② ブレーキ ウォーニング装置（ブレーキ系の異常警告報置） | (85) |
| ③ 衝撃吸収ハンドルをメツシュ式からボール式に変更 | (81) |

(2) 公害対策の充実

- | | |
|--------------------------|------|
| ① MX系にT. P, T. C. S装置の採用 | (15) |
| ② バン系にS. C. V装置の採用 | (14) |